

不動産楽観論、 インフラに見出す 成長機会と、 好調なローン

コンテンツ

2 概要	3 不動産： 楽観の理由	4 インフラ： 成長機会への 投資	5 クレジット： 好調な 2023 年に続き、 シニアローンの見通しは 堅調	6 オルタナ市場 ダッシュボード	7 オルタナ用語の 解説
---------	--------------------	----------------------------	--	------------------------	--------------------

概要

金融市場は興味深い局面を迎えています。2023 年に上場株は反発し（その大半はマグニフィセント・セブン¹のテック株によるものですが）、ウクライナでは戦争が続き、中東では新たな紛争が起きています。これと同時に、一部の企業は苦境に立たされ、銀行による融資基準の引き締めが継続しています。それでも、ほとんどの投資家は、政策当局がインフレを抑制し、米国経済の景気後退が回避されると考えているため、2024 年の見通しは明るいと考えています。

本稿では、ブルックフィールドとオークツリーの投資専門家による洞察をご紹介します：

- **不動産**：2024 年に入り、中央銀行が利下げに転じると予想される中、良好な需給ファンダメンタルズが恩恵をもたらすと考えられることから、楽観的に見えています。
- **インフラストラクチャー（インフラ）**：スーパーサイクルの追い風が継続しており、投資機会は引き続き潤沢です。バリュウ投資家にとっては、多くの事業、特に大きな成長パイプラインを持つ事業をより魅力的な価格で取得する機会が提供され始めています。
- **クレジット**：レバレッジド・ローンは歴史的な 1 年を終え、ベース金利は 10 年平均を上回って推移していることから、魅力的なイールドから引き続き恩恵を受けると考えられます。

オルタナ市場ダッシュボードでは、オルタナティブ投資市場に関する興味深いデータと市場・投資に関する洞察を掲載しています。注目すべき数字には以下が含まれます：

- M&A は大幅に減速したにもかかわらず、同資産クラスの打たれ強さを背景に、民間レンダーは従来の貸し手である銀行から市場シェアを奪取し続けています。ダイレクト・レンディングの利回りは 11.76%と 1 年前から 75bps 上昇した点にも、この力強さが反映されています²。
- 不動産市場は回復の兆しを見せており、純利益の伸び（4.7%）は引き続き過去平均を上回っています³。

最後に、オルタナティブ投資を知る上で有用と考えられる用語を紹介するとともに、産業・ロジスティクス不動産に対する需要増加の原動力となっている要因を解説します。本稿の投資テーマに関して、より詳細な検討を希望される場合には、ご自身のファイナンシャル・アドバイザーにご相談ください。

不動産：楽観の理由

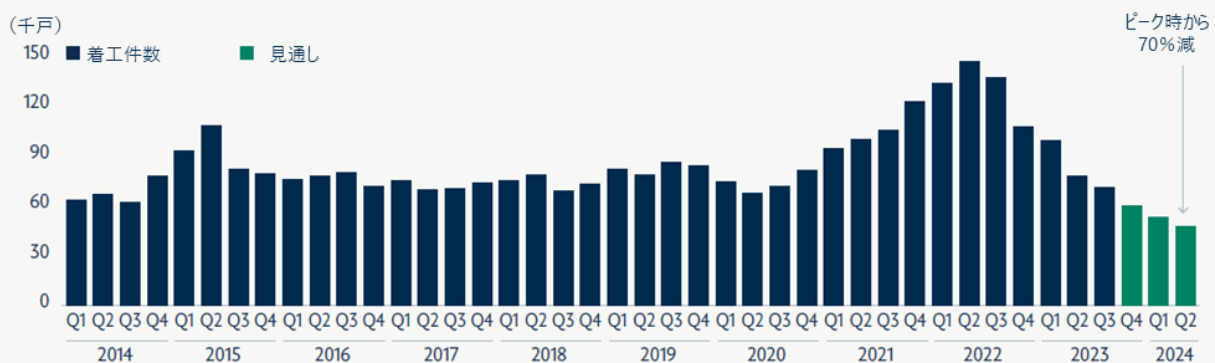
インフレと最近の急激な金利上昇によって生じた逆風が徐々に後退するにつれ、不動産市場は力強い回復に向かうと考えます。底堅いファンダメンタルズと健全な需給要因は、優良不動産のバリュエーション低下と相まって、一部の不動産サブセクターにアウトパフォーマンスの機会をもたらすと見ています。

ブルックフィールドでは3つのテーマを注視しています⁴：

- デモグラフィック（人口統計）とアフォーダビリティ（住宅購入余裕度）**：住宅取得コストは歴史的に高い水準にあり、住宅ローン金利が最近の歴史的低水準を大幅に上回っているにもかかわらず、米国の住宅需要は旺盛で、世帯数は着実に増加しています。さらに、新築住宅着工の遅れによって、供給が大幅に不足しています。こうした要因が重なり、多くの潜在的なマイホーム購入者はより長期にわたり賃貸を選択するようになってきました。実際のところ、マルチファミリーの供給は過去10年間需要を満たすことができず、新規着工件数はピーク時から70%も減少しています（**図表1**）。こうした流れは、新規建設、既存物件の改修、運営管理の最適化を通じてこれらの需要増を取り込む魅力的な機会を生み出しています。
- 消費者嗜好の変化**：新型コロナ後の消費者が仕事やライフスタイルの変化に適応し、余暇の時間や質の高い体験をより重視するにつれ、ホスピタリティとエンターテインメントのセクターは力強い回復を見せています。運営管理の行き届いていない物件や資本不足の不動産、そして需要増が確認されている市場へのエクスポージャーを持つ不動産プラットフォームの取得機会が提供されています。また、パンデミックによってEコマースとネットショッピングが加速したことから、空室率が記録的な低水準にある物流スペースの需要が拡大しており、賃料の伸びが見込まれます。
- 脱グローバル化**：企業がサプライチェーンの確保、在庫の追加、オンショアリングに注力する中で、世界貿易トレンドの進化がロジスティクスと高度製造工場の成長に拍車をかけています。また、国家安全保障上の理由からも脱グローバル化が必要とされており、産業政策が半導体や医薬品を中心とした重要産業を後押ししています。このような需要の高まりが不動産開発の機会を生み出しています。

図表 1：新築集合住宅の着工戸数はピーク時から 70%減

集合住宅着工戸数の推移と見通し



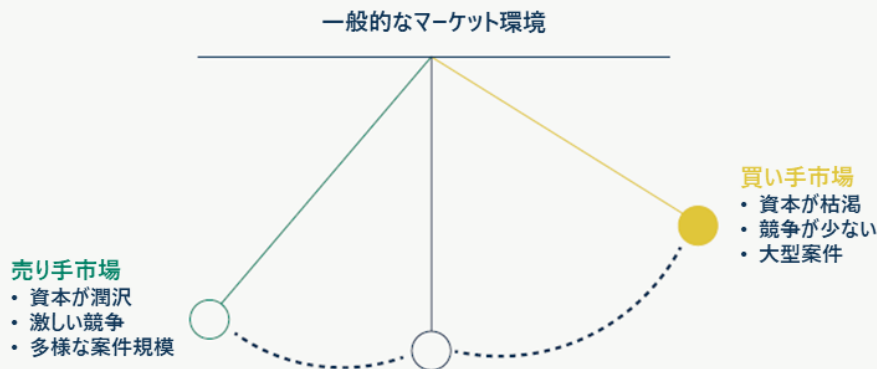
出所：BRE リサーチ、2023 年 9 月 30 日時点。過去の分析は将来の結果を保証するものではありません。

私たちは今、不動産市場サイクルの変曲点にきています。資本市場は資本コストの高止まりという課題に直面しており、案件取引の低迷がバリュエーションに下押し圧力をかけています。一方で、セクター複数における旺盛な需要と供給先細りから、不動産のファンダメンタルズは堅調となっています。このようなダイナミクスを背景として、今後数年間にわたり優良不動産を割安に取得する機会が提供されると予想されます。

インフラ：成長機会への投資

金利が高水準で推移し、多くの市場ではインフレ率が上昇、経済成長は鈍化すると予想される中で、インフラセクターは近年の様相とは異なった環境に直面しています。この結果、資本へのアクセスはもはや容易ではなく投資家の多くが手をこまねている状況となっており、魅力的なインフラ資産の買い手市場（図表 2）が形成される可能性があります。

図表 2：資本不足の環境はしばしば買い手市場を生む



出所：ブルックフィールド。例示のみを目的としたものです。

インフラ投資の機会通常、ブラウンフィールドとグリーンフィールドの 2 つに大別されます（グリーンフィールド投資はプラットフォームの成長に寄与する可能性があるため、ブルックフィールドではプラットフォーム投資とも呼んでいます）。ブラウンフィールド（投資）とは、公益事業など、高いイールドと緩やかな成長の可能性を得ようとする既存の稼働中資産（への投資）で、インフラ投資機会の大部分はこのブラウンフィールド投資に集中しています。

ブルックフィールドでは両方の種類に投資機会を見出していますが、今日の環境を考慮すると、プラットフォーム資産により多くの機会を見出しています。これらは、事業が完全に確立しておらず、インカム収入がまだ低水準であるものの、大きな成長機会を秘めているアセットです。必要な資金を持った買い手がいなかったため、魅力的な価格で取得することが可能です。

こうしたプラットフォーム投資の多くは、デジタルインフラの構築とネットゼロ移行に焦点を当てたデジタル化と脱炭素化というメガトレンドが推進力となっています。人工知能からストリーミングまで、あらゆるものによってデータの重要性が高まり、データセンター、通信塔、光ファイバー網の需要を促進しています。脱炭素化を巡る投資機会は多岐にわたり、より正確に電力消費量を測定するスマートメーターなど、これまで見過ごされてきたエネルギー効率向上に関する投資機会も含まれています。

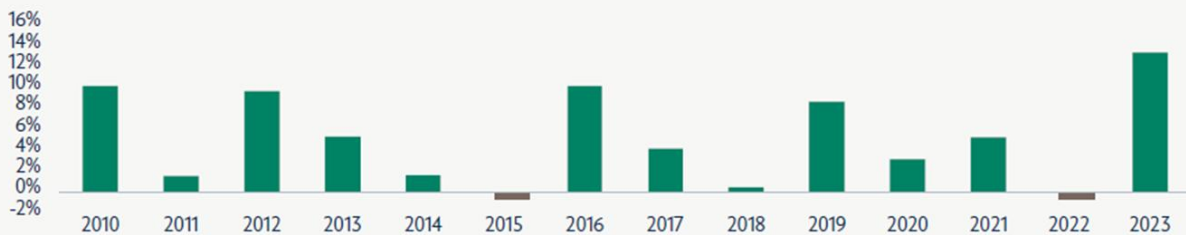
提供するサービスに対する旺盛な需要、強力な顧客基盤の獲得能力、ニーズ増加に対応するための事業規模拡大能力など、これらの投資には共通する特徴があります。この様な点から、これらプロジェクトの多くは実行リスクが低いと考えられます。大型プロジェクトでは、建設前に契約の締結が可能で、これら契約は一般的にインフレ連動型となっています。つまり、安定したキャッシュフローが得られ、ダウンサイドリスクが軽減されているのです。インフラ投資にとって好調な一年となることが予想される 2024 年、ブルックフィールドではこれらプラットフォームの構築に注力するほか、類似するオポチュニティに適切な価格水準で投資する機会を模索しています。

クレジット：好調な 2023 年に続き、シニアローンの見通しは堅調

第 4 四半期の米国シニアローン市場では、新規ローンの発行が限定的で景気後退懸念が和らいでいることや今後における金利低下への期待を背景に、価格が上昇しました。実際のところ、2023 年は特に好調な一年となり、米国シニアローンは 13.32%上昇し、ここ過去 10 年超で最高の年間リターンを記録しました（図表 3）。

図表 3：米国シニアローンは 10 年超来の最高リターンを記録

米国レバレッジド・ローンのリターン、年率



出所：ピッチブック、LCD、モーニングスター-LSTA 米国レバレッジド・ローン・インデックス；2023 年 12 月 31 日時点。

景気後退懸念が薄れつつあるにもかかわらず、借入コストの上昇に牽引され、多くのストラテジストは米国および欧州のレバレッジド・ローンのデフォルトが今後数ヶ月で増加するという見通しを維持しています。オークツリーでは、米国と欧州の経済が縮小した場合でも、制御不能な水準に達することはないと考えています（図表 4）。なぜなら、償還期限を控えたローンの規模は限定的で、発行体（特に欧州）のバランスシートが強靱であるからです。

図表 4：ローン市場のデフォルト率は歴史的な平均を下回る水準で推移



出所：JP モルガン；2023 年 12 月 31 日時点。

市場全体の信用力低下を懸念する声があるものの、10 年平均を上回る金利水準と魅力的なイールドが引き続きローン市場のサポート材料となっており、変動金利資産に投資妙味を見出す状況が継続すると見られます。フェデラル・ファンド (FF) レートは昨年末時点で 3.8%と、米連邦準備制度理事会 (FRB) が 11 月に発表した予想の 4.6%を下回りました。指標金利が 3.8%の場合でも、レバレッジド・ローンのインプライド利回りは魅力的な水準にあり、当分の間は高いクーポンの恩恵を受け続けると見込まれます。加えて、レバレッジド・ローンの主な保有者であるローン担保証券 (CLO) は、同資産クラスの安定した買い手と考えられているため、売り圧力は限定的で、ボラティリティはその他数多くの資産クラスよりも低くなる可能性があると言えます。

米国のソフトランディング（軟着陸）に対する見方が優勢ではあるものの、オークツリーではこれを楽観的ながらも慎重に注視しています。このような背景を考慮すると、足元の市場を上手く乗り切るには、これまで同様、クレジットの選択が重要になると考えています。

オルタナ市場ダッシュボード

パブリック・プライベートを問わず、様々なオルタナティブ・セクターの市況を理解するにあたり役立つ指標を掲載しています。ブルックフィールドとオークツリーは、パブリックとプライベート両方のオルタナティブ資産を加えることがポートフォリオにおいて重要な役割を果たすと考えています。

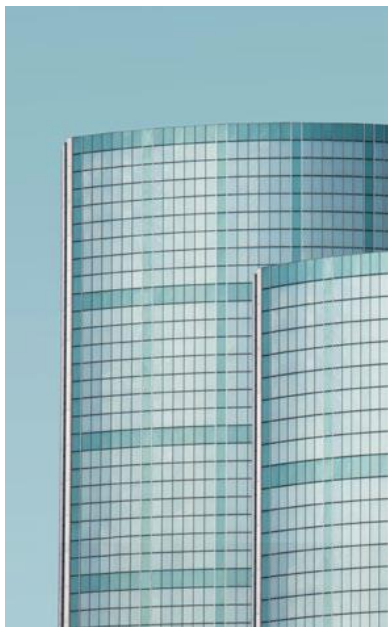
セクター	指標	2023 年第 4 四半期	前年比	年初来	注釈
クレジット	■ プライベート・クレジット ■ ハイイールド債	11.15% (1年), 10.19% (5年), 8.64% (10年)	-76%	+75bps	パフォーマンスからは、プライベート・クレジット市場の打たれ強さが示唆されている
	案件取引規模	\$120 億			
	ダイレクト・レンディング・利回り ⁵	11.76%			
	ハイイールド利回り ⁶	7.69%			
インフラ	■ プライベート・インフラ ■ パブリック・インフラ	12.09% (1年), 1.36% (5年), 12.30% (10年)	-49%	+18bps	最近のパフォーマンスには、その他資産クラスを上回る強靱さを示唆
	案件取引規模	\$250 億			
	上場インフラ利回り ⁷	3.69%			
	上場インフラ EV/EBITDA 倍率平均 ⁸	9.66 倍			
プライベート・エクイティ	■ プライベート・エクイティ ■ 上場株式	9.17% (1年), 22.58% (5年), 15.95% (10年)	-1.7%	+2.0 倍	貸出基準厳格化を背景に、プライベート・エクイティのスポンサーはより多くのエクイティを注入している
	案件取引規模	\$3,690 億			
	バイアウト EV/EBITDA 倍率中央値 ⁹	15.2 倍			
	バイアウト・セカンダリー案件価格 ¹⁰	43%			
不動産	■ プライベート不動産 ■ パブリック不動産	-1.79% (1年), 2.72% (5年), 8.33% (10年)	-24%	+94bps	バリュエーションにおける金利上昇の反映とともに、キャップレートが引き続き拡大
	案件取引規模	\$900 億			
	キャップレート平均 ¹¹	6.9%			
	ネット NOI 1 年成長率 ¹²	4.7%			

プライベート・クレジットはクリフウォーター・ダイレクト・レンディング・インデックス、ハイイールドは ICE BofA 米国ハイ・イールド・インデックス、プライベート・インフラストラクチャーはブレキン・インフラストラクチャー・インデックス、パブリック・インフラストラクチャーは FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー 50/50 インデックス、プライベート・エクイティはブレキン・プライベート・エクイティ・インデックス、上場株式は MSCI ワールド・インデックス、プライベート不動産はブレキン・リアル・エステート・インデックス、パブリック不動産は FTSE EPRA Nareit ディベロップト・インデックスを反映しています。指数は運用されていません。投資家が指数に直接投資することはできません。例示のみを目的としたもので、特定の投資にかかるパフォーマンスを代表するものではありません。

取引案件規模とドライパウダーはブレキンが提供するプライベート・クレジット、インフラストラクチャー、プライベート・エクイティ、不動産の各インデックスの 2023 年 12 月 31 日時点のデータです。

出所：ブルームバーグ、クリフウォーター、ブレキン。別途の記載がない限りデータは 2023 年 9 月 30 日時点、入手可能なプライベート市場インデックスのデータを反映しています。

オルタナ用語の解説



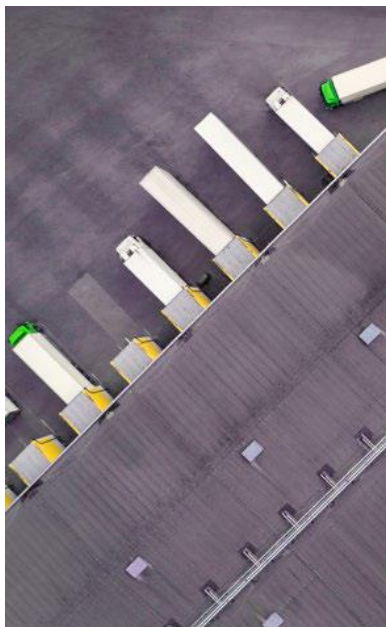
クレジット

変動金利

変動金利は、オーバーナイトの借入金利や市場の実勢を反映して定期的に変動します。

一般的に、担保付翌日物調達金利（SOFR）などの指標金利と、知覚リスクを反映した追加プレミアム（スプレッド）を組み合わせると金利が設定されます。

例えば、SOFR+150 で設定されたローン金利は、SOFR+150bps（または SOFR+1.5%）です。



不動産

産業用／ロジスティクス

e コマースの成長と迅速な配送を求める消費者の期待が相まって、産業用／ロジスティクス不動産に対する力強い需要が生まれています。産業用／ロジスティクス不動産とは、保管、受注処理、配送に対応するパーパスビルドの専用構造で、効率的なサプライチェーンを支援するために特殊設計された物件です。こうした施設は、一般的な倉庫、食品保管用に設計された温度管理された専用建物、危険物取扱の許可を得た物件まで、多岐にわたります。



インフラ

グリーンフィールド／ ブラウンフィールド

グリーンフィールド投資は、一般的に開発と建設を必要とします。このような投資は事業が十分に確立されておらず、現時点でのインカムは低水準であるものの、大きな成長の可能性を秘めています。ブルックフィールドでは、これら資産への投資を通じてプラットフォームを構築し、新規事業の成長を目指すため、このような投資をプラットフォーム投資とも呼んでいます。

ブラウンフィールド投資は、稼働中で収益を生み出しているが、効率と収益性の改善を図るためのアップグレードが必要なインフラ資産への拡張投資です。

一般的に、グリーンフィールド投資はブラウンフィールド投資に比べてリスク／リターンが大きくなります。

脚注

1. マグニフィセント・セブンは、アップル、アマゾン、アルファベット、エヌビディア、メタ、マイクロソフト、テスラを指す。
2. 出所：CDLI 3 年物テイクアウト利回りを反映した米国ダイレクト・レンディングに関するクリフウォーター・レポート。
3. 出所：ファクトセット。FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー50/50 インデックスの平均 EV/EBITDA 倍率を反映。この倍率は、企業価値 (EV) を金利・税金・減価償却・償却前利益 (EBITDA) で割ったもので、企業価値を判断するために使用される比率。
4. ブルックフィールド、グローバル不動産の機会を創出する 3 つのテーマ、2023 年 5 月 1 日。
5. 出所：CDLI 3 年物テイクアウト利回りを反映した米国ダイレクト・レンディングに関するクリフウォーター・レポート。
6. 出所：ブルームバーグ。ICE BofA US ハイ・イールド・インデックスの最低利回りを反映。最低利回りは、デフォルトすることなく契約条件の範囲内で完全な運用が可能な債券で受け取ることのできる最低利回りを示す指標である。
7. 出所：ブルームバーグ。FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー50/50 インデックスの配当利回りを反映。
8. 出所：FactSet。FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー50/50 インデックスの平均 EV/EBITDA 倍率を反映。これは企業価値を決定するために使用される比率で、企業価値 (EV) を金利・税金・減価償却・償却前利益 (EBITDA) で割ったもの。
9. 出所：ブレキン
10. 資産価値に対する融資の規模を反映し Pitchbook Q3 US PE Breakdown。
11. 出所：グリーンストリート。米国の不動産タイプのキャップレートの単純平均を反映。
12. 出所：NCREIF。NCREIF オープンエンド分散型コア・エクイティ・ファンド・インデックス (NFI-ODCE) に含まれる NOI 成長率を反映。

リスクに関する記述

不動産関連商品への投資は、不動産の物件価値、賃料、入居率に影響を及ぼす経済、法令、環境の要因から影響を受ける場合があります。インフラ企業は、その事業に悪影響を及ぼす可能性のある様々な要因（高金利、高レバレッジ、規制コスト、景気減速、余剰生産能力、競争激化、燃料不足、再エネ方針など）から影響を受ける場合があります。

オルタナティブ投資はしばしば投機的であり、高いリスクを伴います。投資家は、投資金額の全てまたは多額を失う可能性があります。

ハイイールド債には金利リスクが伴います。金利が上昇すると債券価格は下落します。一般的に、満期が長期になるほど金利リスクに対する感応度が高くなります。

利回りは経済状況に伴って変動します。利回りは、投資意思決定に際する検討事項のひとつにすぎません。

当資料に含まれる情報は、投資助言、取引意図もしくは保有銘柄の示唆または投資パフォーマンスの予測ではなく、そのように意図したものではありません。当資料に表示された見解および情報は、いつでも変更される場合があります。ブルックフィールドは、当該見解や情報を更新する責任を負いません。当該情報は信頼できる情報源から取得したものと見なされますが、ブルックフィールドは、その完全性または正確性を保証しません。

当資料で示された意見は、子会社および関連会社を含むブルックフィールドの現在の意見であり、予告なく変更される場合があります。子会社および関連会社を含むブルックフィールドは、当該情報の更新または顧客への変更の通知を行う責任を負いません。当資料に提示されたいかなる見直し、予測またはポートフォリオ保有比率も当資料に示された日付時点のものであり、予告なく変更される場合があります。過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスを示唆するものではなく、投資の価値とそれら投資から得られるインカムは変動することがあります。

将来の見直しに関する記述

当資料は、米国連邦証券法令、具体的に米国 1934 年証券取引所法（その後の改正を含む）第 21E 条、そしてカナダ証券法令における意義の範囲内における将来の見直しに関する記述を含む情報やそれらに基づく情報が含まれています。将来の見直しに関する記述は、事業戦略や投資戦略もしくは戦略遂行のための措置、競争力、目標、事業の拡大および成長、計画、見込み、将来の成功への言及など、将来の行動、事象または動向に関して、過去の事実の記述以外のすべての記述を含みます。これらの記述は、過去または現在の事実と厳格に関連しないという事実によって特定することができます。

「予測」、「推定」、「期待」、「予想」、「想定」、「計画」、「考え」やその他の類似する用語は、これらの将来の見通しに関する記述を特定するために用いられます。将来の見通しに関する記述は、不正確な仮定や既知もしくは未知のリスクおよび不確実性によって影響を受ける可能性があります。そうした要素の多くは、将来の実際の結果や成果を決定する上で重要となります。そのため、いかなる将来の見通しに関する記述についても保証はありません。実際の結果や成果は大きく異なることがあります。これらの不確実性を踏まえ、これらの将来の見通しに関する記述に不当に依拠するべきではありません。

ブルックフィールド・コーポレーションとその関係会社（総称して「ブルックフィールド」）が設定するいかなる商品に適用される条件の概要の提供を目的としたものではありません。

情報および見解は予告なく変更される場合があります。当資料で提供される情報の一部は、ブルックフィールドの内部調査に基づいて作成されており、一定の情報はブルックフィールドによる様々な仮定に基づいており、いずれの仮定も正確とは限りません。ブルックフィールドは、当資料に含まれる情報（第三者から提供される情報を含む）の正確性または完全性を必ずしも検証しておらず（そして検証する義務を負わず）、いかなる情報についても検証されたものとしてブルックフィールドに依拠することはできません。

当資料で提供された情報は、当資料作成時点におけるブルックフィールドの視点および信念を反映しています。

インデックス・プロバイダーに関する重要事項

当資料内で引用されたインデックスは運用されておらず、投資家がインデックスに直接投資することはできません。インデックスのパフォーマンスは例示のみを目的として記載されており、いかなる投資のパフォーマンスも予測または表示するものではありません。当該比較に関連して、記載されたインデックスとブルックフィールドの戦略、コンポジットまたはファンドへの投資との間には、ボラティリティや規制上および法律上の制約の違いなど、重大な要因が存在する可能性があります。ブルックフィールドは、第三者のインデックス・スポンサーからインデックスに関するすべてのデータを取得しており、当該データは正確と考えていますが、その正確性に関していかなる表明も行わないものではありません。インデックスは運用されておらず、投資家が直接購入することはできません。

ブルックフィールドは、当資料で参照されたインデックスを所有しておらず、その構築または日々の管理に関与していません。当資料に記載されたインデックスの情報は、お客様への情報提供のみを目的としており、ブルックフィールドの運用商品が同様の結果を達成すると暗示または予測するものではありません。当該情報は予告なく変更されることがあります。当資料で参照されたインデックスは、いかなる報酬、費用、販売手数料または税金も控除していません。インデックスに直接投資することはできません。インデックス・スポンサーは、インデックスおよび関連データの「現状のまま」での使用を許可しており、これに関していかなる保証も行わず、インデックスまたはインデックスに含まれる、関連する、もしくはそこから派生するデータの適合性や品質、正確性、適時性、完全性を保証せず、それらの使用に関連して一切の責任を負いません。インデックス・スポンサーは、直接的、間接的、特別、偶発的、懲罰的、結果的またはその他の損害（利益の損失を含む）について一切の責任を負いません。インデックス・スポンサーは、ブルックフィールドまたはそのいかなる運用商品やサービスの後援、是認または推奨も行わないものではありません。別段の注記がない限り、すべてのインデックスはトータルリターン・インデックスです。

インデックスの定義

ブレキン・インフラストラクチャー・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資額に基づいて、投資家がプライベート・インフラ・ポートフォリオで平均的に獲得したリターンを指数化したものです。各データポイントは、包括的なパフォーマンスデータが保有されているクローズドエンド型ファンドのプールから、四半期開始時点と終了時点の両方で個別に算出されています。

ブレキン・リアル・エステート・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資金額に基づいて、投資家がプライベート不動産ポートフォリオで平均的に獲得したリターンを指数化したものです。各データポイントは、包括的なパフォーマンスデータが保有されているクローズドエンド型ファンドのプールから、四半期開始時点と終了時点の両方で個別に算出されています。

ブレキン・プライベート・エクイティ・インデックスは、プライベート・キャピタル・パートナーシップへの実際の投資金額に基づいて、投資家がプライベート・エクイティ・ポートフォリオで平均的に獲得したリターンを指数化したものです。各データポイントは、包括的なパフォーマンスデータを保有するクローズドエンド型ファンドのプールから、四半期開始時と終了時の両方で個別に算出されています。

クリフウォーター・ダイレクト・レンディング・インデックス (CDLI) は、特定の適格性要件を条件として、上場および未上場の両方を含む事業開発会社 (BDC) の原資産の資産加重パフォーマンスで表される、米国ドルマーケット (中堅) 企業貸付のレバレッジなし報酬控除前パフォーマンスを測定する指数です。

FTSE EPRA Nareit ディベロップト不動産インデックスは、運用されていない時価総額加重トータルリターン・インデックスであり、先進国の上場エクイティ・リートおよび上場不動産企業で構成されています。

FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー50/50 インデックスは、市場参加者に業界の定義によるインフラの解釈をもたらし、一定のインフラ・サブセクターへのエクスポージャーを調整しています。セクター別構成比率は、半年ごとのレビューの一環として、広範な 3 産業セクターについて、公益事業 50%、7.5%を上限とする線路/鉄道を含む運輸 30%、パイプライン、衛星、電気通信塔を含むその他セクター20%の比率に従って調整されます。各グループ内の個別銘柄の比率は、投資可能時価総額の割合で調整されます。

ICE BofA 米国ハイ・イールド・インデックスは、米国国内市場で公募発行された米ドル建て投資適格未満社債のパフォーマンスを追跡しています。

ICE BofA メリルリンチ・グローバル・ハイ・イールド・ヨーロッパ・イシューアーズ・ノンフィナンシャル 3%コンストレインド Ex ロシア・インデックスは、金融発行体またはロシアをリスク国とする証券を除く、より広範なインデックスに含まれるすべての証券を含むサブインデックスで、発行体のエクスポージャーは 3%に制限されています。インデックスは米ドルヘッジ、月次でリバランスされている。

MSCI ワールド・インデックスは、先進国の株式市場のパフォーマンスを測定するように設計された、浮動株調整後時価総額加重インデックスです。

お問い合わせ

 brookfieldoaktree.com

 info@brookfieldoaktree.com